



救急ヘリ運航存続への協力お願い

沖縄本島北部の遠隔地や離島の救急医療の改善を図るため、北部地区医師会が独自の事業費負担により、平成 2007 年 6 月から救急ヘリ搬送試行運事業を続けてまいりました。

その結果、2008 年 6 月 10 日現在、208 件の出動件数を数え、北部地域の救急ヘリ搬送の需要が高いこと、また救急ヘリ搬送による救命率の向上（後遺障害軽減）に大きく効果があることが実証され、県内救急医療の地域格差解消につながる、必要不可欠なシステムと評価され、この救急ヘリ搬送事業存続を求める 7 万 1 千人を超える署名を頂きました。また、企業をはじめ多くの方々から「何か協力は出来ないか、救急ヘリは必要」との心強い大きな声が寄せられています。その声が、私たち救急ヘリ MESH の誇りであり命です。

遺憾ながら、これまで 1 年間の救急ヘリ搬送事業実績から、1 民間組織である北部地区医師会としては今後の事業費負担を継続することは事実上不可能と判断しました。断腸の思いで平成 20 年 5 月 23 日の医師会理事会におきまして、同年 7 月 1 日からの救急ヘリ搬送事業の一時休止を決定致しました。

沖縄県では年内にドクターヘリ導入が決定され、中南部の救命救急センターで 1 機の運航が開始されます。しかし、北部地域で本当に必要とされる救急医療体制ではありません。沖縄北部の救急ヘリ搬送を今後も継続する必要性があります。

現場を支える私たち救急部は、運航を続けられるよう全力で努力する所存です。しかし運航継続には、事業費の確保が急務であります。そこで、多くの皆様へ寄付「志」をお願いする所存です。運航継続に向け、皆様の暖かいご支援をお願い致します。

NPO 法人 MESH サポート設立推進室
代表 小濱 正博